



研究者名※	石井 辰典 ISHII Tatsunori	学位※	博士（心理学）
所属※	人文社会学部 心理学科	職名※	准教授
連絡先	ishiit@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/t.ishii1108/">https://researchmap.jp/t.ishii1108/</a>		
研究分野※	情報学（人間情報学・認知科学），社会科学（心理学・社会心理学）		
研究キーワード※	進化・発達・学習，社会的認知・感情，態度・信念，社会的相互作用・対人関係，文化		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<p>協力・利他主義傾向の関連についての進化心理学的研究（科学研究費補助金・若手研究B・研究代表者・2017-19年度）</p> <p>宗教的信念の心理的起源を探る：“心の理論仮説”の再検討（科学研究費補助金・若手研究・研究代表者・2019-21年度）</p> <p>運動同期と文化伝達：身体運動の同期が信念・選好の伝達に与える影響（科学研究費補助金・基盤研究C・研究代表者・2022-24年度）</p>		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴	<p>2011年 日本心理学会「国際会議等参加旅費補助金」 採択</p> <p>2014年 日本社会心理学会「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」 採択</p> <p>2014年 日本心理学会 心理学ミュージアム最優秀作品賞 受賞</p> <p>2015年 日本感情心理学会第23回大会 独創研究賞 &amp; グッドプレゼンテーション賞 同時受賞</p> <p>2017年 日本感情心理学会第25回大会 グッドプレゼンテーション賞 受賞</p> <p>2019年 新学術領域「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築：多文化をつなぐ顔と身体表現」第5回領域会議 トラベルアワード &amp; 若手最優秀発表賞 受賞</p> <p>2020年 日本心理学会 新型コロナウイルス感染拡大に関連した実践活動及び研究助成 採択</p> <p>2020年 新学術領域「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築：多文化をつなぐ顔と身体表現」第7回領域会議 若手優秀発表賞 受賞</p>		

研究領域	認知科学・社会心理学	(SDGs)
研究テーマ※	宗教的信念の形成と伝達に関する心理学的研究	

<p>概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)</p>	<p><b>【研究の背景・目的・内容】</b></p> <p>人間は、他者が何を考えているか、どんな気持ちになっているかなどを、なんとなく理解することが出来ません。例えば、話している内容、言葉のトーン、表情、ジェスチャー、振る舞い…様々な手がかりを駆使して、相手の「心」の状態を推論・判断しているわけです。ではどうやって推論・判断しているのでしょうか？またこうした他者の心を理解する能力がどんな派生的な現象を生んでいるのでしょうか？</p> <p>近年では、神や精霊、あるいはカルマといった超自然的な“見えない存在”を信じる気持ちに注目した研究を行っています。ほとんどの社会において多様な超自然的存在・宗教的存在が信じられていますが、それを可能にする認知的・心理的基盤とはどのようなものなのでしょうか？またこうした信念は心理学的にどのような機能があるのでしょうか。</p> <p>以上のようなことに興味をもって、大人や子どもを対象に、調査や実験を実施しています。</p> <p><b>【応用例、研究の展望】</b></p> <p>私の研究分野は、社会的認知や宗教の認知科学と呼ばれるものになります。こうした分野では、人々が他者をどのように認知し、それを元にどのような社会行動が生じるのか、そしてその社会行動がどのような集会的・社会的現象を生むのかといった「マイクロ（個人）レベル」と「マクロ（集団）レベル」をつなぐような研究が必要とされています。こうしたマイクロ-マクロ関係の解明に向けて私も、例えば集団の中での対人相互作用（他者との身体・運動の同期）が、個人の心的・行動傾向（超自然的な信念の形成）にどのような影響を与えるのかといったことを明らかにしていきたいと考えています。</p> <p><b>【研究方法の特色】</b></p> <p>近年の心理学研究の特色として、オンライン研究プラットフォームやクラウドソーシングを駆使した大規模研究が挙げられます。これまでは身近にいる人々からしかデータ収集ができなかったのに対して、国中あるいは他国の参加者を集めることも比較的用意になりつつあります。私も、こうした大規模な研究を実施する経験を積んでおり、より普遍的で一般化可能性の高い、頑健な研究知見を得ていきたいと考えています。</p>
<p>本研究関連 特許・論文等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">Psychological Science Accelerator Self-Determination Theory Collaboration</a> (2022). A global experiment on motivating social distancing during the COVID-19 pandemic. <i>Proceedings of the National Academy of Sciences</i>, <i>119</i>(22), e2111091119.</li> <li>・ <a href="#">Ishii, T., &amp; Watanabe, K.</a> (2022). Do empathetic people have strong religious beliefs? Survey studies with large Japanese samples. <i>The International Journal for the Psychology of Religion</i>.</li> <li>・ <a href="#">Wang, K., Goldenberg, A., ...Ishii, T., ... &amp; Moshontz, H.</a> (2021). A multi-country test of brief reappraisal interventions on emotions during the COVID-19 pandemic. <i>Nature Human Behaviour</i>, <i>5</i>, 1089-1110</li> <li>・ <a href="#">Ishii, T., &amp; Watanabe, K.</a> (2021). Caring about you: The motivational component of mentalizing, not the mental state attribution component, predicts religious belief in Japan. <i>Religion, Brain, &amp; Behavior</i>, <i>11</i>(4), 361-370.</li> <li>・ <a href="#">Meng, X., Ishii, T., Sugimoto, K., Itakura, S., &amp; Watanabe, K.</a> (2021). Source memory and social exchange in young children. <i>Cognitive Processing</i>, <i>22</i>, 529-537.</li> <li>・ <a href="#">Meng, X., Ishii, T., Sugimoto, K., Song, R., Moriguchi, Y., &amp; Watanabe, K.</a> (2019). Smiling enemies: Young children better recall mean individuals who smile. <i>Journal of Experimental Child Psychology</i>, <i>188</i>, 104672.</li> </ul>
<p>共同研究・外部機関 との連携への期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早稲田大学 理工学術院 渡邊克巳教授との共同研究</li> <li>・ 国際的な心理学研究組織（Psychological Science Accelerator）のメンバーとして活動</li> </ul>